

§ 17 ふり返りと指導者の在り方

●セッションの目標（参加者はこのセッション終了時に次のことが達成できる。）

1. この野営法研究会 Step1 で何を学んだのかを確認のためふり返る。
2. 参加者の皆さんの取り組み方はどうであったろうか。スタッフの取り組み方はどうであったろうか。
3. 今後の予定として、ボーイ隊・ベンチャー隊の指導者の皆さんは、さらにステップアップした野営法 Step2 へと文字通りステップアップしてもらい、そこで学んだことをスカウト・プログラムとして還元してもらいたい。

●指導上のねらい・ポイント

1. この現代の世の中、なかなか自由になる時間がとれず、野営法の自己研鑽は難しいかもしれない。また、身近に野営法に長けた先輩指導者が少なくなってしまうと、教わることができなくなってしまうのかもしれない。
そんな環境の中で、皆さんは進んでこの野営法研究会 Step1 に参加された。そこで、何を（どんな技能をではなくどんな精神や在り方）を学んだであろうか。1 人ずつ手短かに語ってもらう。
2. この 2 日間楽しんでもらえたであろうか？
「スカウティングは楽しいゲームである」という格言は、何もスカウトだけのものではない。指導者自身が楽しまなければ、いや、何事に対しても自ら進んで「楽しむ」姿勢で臨まなければ、楽しいスカウティングはできないであろう。指導者は是非そう在ってもらいたい。
また、「何事に対しても・・・」ということは、どんなに辛い作業であっても、心の持ち方ひとつで（心持ち方を工夫して）楽しいゲームに変身してしまう。そして、その楽しさを自分ひとりだけではなく、周囲の人にもつ伝染させていく。 One for All. である。

●セッション展開にあたっての留意点

1. 指導者として持つべき意識、指導者が指導者たる意味をここで伝える。
2. §15, §16 のまとめを参照する。

●準備品 ・名称〈規格〉（数量）

●他のスタッフへの依頼事項

【他の講師に】

- ・一緒に聞いてください。

【業務・奉仕スタッフに】

●セッション構成と展開（時間配分）

- 講義（25 分）→実習（0 分）→まとめ（5 分）

《導入》（5 分）

1. 「

《展開》（40 分）

1. この野営法研究会 Step1 で何を学んだのかを確認のためふり返る。
 - ①この現代の世の中、なかなか自由になる時間がとれず、野営法の自己研鑽は難しいかもしれない。また、身近に野営法に長けた先輩指導者が少なくなってしまうと、教わるということができなくなってしまうのかもしれない。そんな環境の中で、皆さんは進んでこの野営法研究会 Step1 に参加された。
○そこで、何を（どんな技能をではなく、どんな「スカウトの精神」や「指導者としての自分の在り方」）を学んだであろうか。1 人ずつ手短かに語ってもらう。
2. 参加者の皆さんの取り組み方はどうであったろうか。スタッフの取り組み方はどうであったろうか。
 - ②この 2 日間楽しんでもらえたであろうか？
○この研究会の最初にも話したが、この野営法研究会は、自らの積極的な関わりで「楽しみながら」研鑽を積

むものである。決して受け身の、誰かが与えてくれた「楽しさ」ではない。

「スカウティングは楽しいゲームである」という格言は、何もスカウトだけのものではない。いや、指導者自身が楽しまなければ、いや、何事に対しても自ら進んで「楽しむ」姿勢をもって臨まなければ、楽しいスカウティングはできないであろう。指導者は是非そう在ってほしい。

また、「何事に対しても・・・」ということは、どんなに辛い作業であっても、心の持ち方ひとつで（心の持ち方を工夫して）楽しいゲームに変身してしまうことだ。

そして、その楽しさを自分ひとりだけではなく、周囲の人にもつ感染させていく。 One for All. である。

○皆さんの積極的に「楽しむ」という関わり方は、ボーイスカウトの主旨である「自分の成長に責任を持つ」という精神に繋がっていくことが、理解してもらえただろうか。

○ということで、皆さんのこの関わり方を、隊に帰って展開してほしい。隊の意識（方向）を「自ら積極的に関わり、楽しんで身に付ける」というトコロに導いてほしい。指導者としてスカウトにその意識と精神が培え、育つように、そんな気持ちで常にスカウトに関わってほしい。

3. 今後の予定として、ボーイ隊・ベンチャー隊の指導者の皆さんは、さらにステップアップした野営法 Step2 へと文字通りステップアップしてもらい、そこで学んだことをスカウト・プログラムとして還元してほしい。

※ここだけ「です・ます」調

③この野営法研究会で、たくさんを知ることができたと思います。だけど、それはまだ「知った」「取りあえず体験した」・・・といったトコロです。この先、各隊に帰って、いろいろな活動を通して経験を積んで行くことが必要です。

○この野営法 Step1 で実習したことは、ボーイでいうと何級レベルだと思いますか？ 2 級？ 1 級？ いや、そこまでは行っていません。ほぼ 2 級です。「これで ???」と思われる方もいるでしょうが、実は、2 級スカウトのキャンプレベルにはちょっと毛の生えたくらいです。・・・ということは、これだけのことを知っていても、ボーイ隊のキャンプの責任者として運営することはできません。

この、この野営法研究会 Step1 で履修した科目は、スカウト活動を中心となっていく隊長・副長として、身に付けていなければならないごく基本的な「キャンプ技能」です。

○ボーイ隊の班長(1 級や菊)でも、実際には、この野営法研究会 Step1 程の知識や技能は持ってはいないでしょう。なのに 1 級スカウトであり、菊スカウトになっているわけです。

しかし、楽しく・安全・安心な班キャンプを行うためには、これだけのことを身に付けていなくてはなりません。・・・じゃあどうするか・・・。

その答えは、指導者であるあなたが、彼ら班長をフォローし指導し、育成しなくてはなりません(GB 訓練: まず GB にスカウトキャンプの意義と意味を気づかせ、それを班で自ら指導させる)。ですから、あなたにはこの Step1 が必要なのです。

○ボーイ・ベンチャーのキャンプ運営の責任者であるボーイ隊長・ベンチャー隊長・副長の皆さんは、この Step1 の「知る」レベルから、さら「理解する」にステップアップすること、つまりもっと高いレベルでのキャンプ・技能・ノウハウ、つまりキャンプのエキスパートであることが求められます

(スペシャリストではありません。エキスパートです。

※エキスパートは専門家といっても、その技術の背景まで知っている、いわゆる権威のことです。これに対しスペシャリストはその道一筋の専門家です。その技術には著しく秀でている反面、それ以外はちょっと苦手ということもありえます。)

単にキャンプを行うのであれば、この段階でも十分に楽しいキャンプはできます。しかしながら、最初のセッションでも伝えましたが、スカウト・キャンプは教育のための手段です。目的は各個人の全般的（知識・技能・精神等の）能力のアップです。そう、「健康」「情緒」「協調」「観察」「推理」「発見」「驚嘆」「感謝」「素直な心」「自発性」「自立心」「自律心」「創意工夫」「仲間」「友情」等を素晴らしい自然から得ることです。そして、それを自分で将来使うことができるように整理し蓄積することが、スカウト・キャンプに求められていることです。

指導者自身が、スカウトキャンプのシーンで行う多くの事柄の意味と効果を理解して、それをスカウトの成長にどう関わらせていくかを、各スカウトを観察しながら、その場その場でタイムリーに判断し、指導・助言し、実行から定着へと推移させる・・・というレベルが求められます。そのレベルを知り、それを獲得するのが「野営法研究会 Step1」なのです。

○カブの指導者であれば、基本的にはこの Step1 を修了すれば、「カブのキャンプ」、つまりテント泊での宿泊プログラムを実施・運営することができます。ですが、それで十分ということではありません。もっとレベルアップすれば、もっともっと楽しいプログラムが展開でき、また、天気の急変などへの対応も余裕を持って行えるようになります。

○ビーバーの指導者の皆さんは、ビーバーの戸外活動を行う限りは、この Step1 の野営法で十分であろうと思われます。しかしながら、相手はビーバースカウトです。万一雨が降ってきてしまった場合、カブやボーイのように体力がありませんから、素早く雨よけのタープを張ることが求められるかもしれません。そうぞ Be Prepared「そなえよつねに」のスカウト精神です。今後も Step1 のレベルを維持すると同時に、先ほど述べた「雨よけタープ」の張り方等については、よりスムーズに、また、少ない人数で素早く張れるよう技能を磨いておく……ようにしましょう。

ビーバースカウト……「**戸外**（家のまわり）」

カブスカウト……「**屋外**（住宅地、集落など人工的なものの周囲）」

ボーイ以上……「**野外**（自然が残っている地域）」

○この Step1 を修了された、方には

カブ部門の「キャンプマネージャー」「キャンプチーフ」

ボーイ・ベンチャー部門の「キャンプチーフ」

の資格が与えられます。

認定資格		キャンプスタッフ	キャンプチーフ	キャンプマネージャー
野営法講習会	カブ	○		
	ボーイ	○		
	ベンチャー	○		
野営法研究会 Step1	カブ	○	○	○
	ボーイ	○	○	
	ベンチャー	○	○	
野営法研究会 Step2	カブ	○	○	○
	ボーイ	○	○	○
	ベンチャー	○	○	○

- 「キャンプマネージャー」とは、スカウトキャンプの管理運営者としての責務を持つ者。
すなわち、通常は「隊長」がその任に就く。
- 「キャンプチーフ」はキャンプマネージャーの下で、分担された任務のチーフとしてキャンプを運営する者。すなわち、通常は「副長」「副長補」等。
- 「キャンプスタッフ」はキャンプチーフの下でキャンプの運営を支援する者。
すなわち、通常は「デンリーダー」「隊付」「上班」「団委員等の支援者」等。

《まとめ》(5分)

1.

●備考